

平成 3 0 年 3 月 5 日招集

第 1 1 回鏡石町議会定例会

町 長 説 明 要 旨

本日ここに、第11回鏡石町議会定例会の開会にあたり、町政運営に当たっての所信の一端を申し述べるとともに、提出いたしました議案の概要について、ご説明を申し上げます。議員各位並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

今月11日で東日本大震災、そして原発事故から丸7年が経過します。県では、平成24年産米から始まった米の全量全袋検査について、2年後に抽出検査に移る方向性が示されました。これは、年間約一千万袋の検査費が60億円にも及んでいる一方、国の基準値を超える米が過去3年でゼロだったことや、生産農家も高齢化による負担が訴えられていることから、第三者委員会の意見を踏まえ見直しを進めているもので、県や民間によるアンケート調査では、見直しを求める声が年々増える一方、継続すべきとする声も多くあることから、これまで十分に蓄積されたデータに基づいたしっかりした方向性を決定してほしいと思います。

1月7日に行われた成人式は、華やかな中にも厳粛に式が執り行われ、165名がめでたく成人を迎えられました。

新成人の皆様には、一人ひとりが自らを律する強い意志と社会人としての自覚と責任をもって、日々の生活を有意義に送っていただきたいと思います。

第196回通常国会が1月22日に召集されました。

安倍首相は、施政方針演説で「日本は、少子高齢化という「国難」と呼ぶべき危機に直面している。あらゆる日本人にチャンスをつくることで、少子高齢化もきっと克服できる。今こそ新たな国創りの時だ。」と述べ、「50年、100年先の未来を見据えた」国創りを強く訴えています。今国会で成立を期す働き方改革に関しては、誰もが能力を発揮できる、柔軟な労働制度への抜本的な大改革だと

示し、人づくり革命では来年10月の消費税率引き上げに伴う増収分を活用して、お年寄りも若者も安心できる全世代型の社会保障制度へ転換すると決意が述べられました。また、新年度予算案の歳出総額は、97兆7,128億円で6年続けて過去最大を更新しており、高齢化による社会保障費、防衛費とも最大となっております。今後3月末までの成立を目指し、国会での予算委員会等の論戦が続けられています。

総務省が公表した平成29年の人口移動報告によると、東京圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）への転入者が11万9千人と22年連続で、転入者が転出者を上回る転入超過となり、東京一極集中が加速している状況となりました。全市町村の76.3%は転出超過で、転出超過40道府県のうち福島県は8,395人で最も多い結果となりました。総務省によると、15歳から29歳の東京圏への転入が多いことから、景気の上向きに伴い、進学や就職を機会として若い世代が流入しているとされています。政府が掲げるまち・ひと・しごと創生法における東京一極集中是正に係る施策については、まだまだ不十分でありこれからの課題となっています。

政府における平成30年度の経済財政運営については、引き続き「経済再生なくして財政健全化なし」を基本として、600兆円経済の実現を目指すとされ、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、「生産性革命」と「ひとづくり革命」を車の両輪として2020年に向けて取り組んでいくとしています。

平成30年度の我が国の経済は、海外経済の回復が続く中、雇用・所得環境の改善が続く、経済の好循環がさらに進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれ、物価についても、景気回復により、需給が引き締まる中で上昇し、デフレ脱却に向け前進が見込まれています。

さて、今回も新たな感動を与えてくれた、2018年ピョンチャン冬季オリンピック大会は先月25日全ての競技を終え、閉会式がおこなわれました。

日本のメダル獲得数は、金4個、銀5個、銅4個の計13個となり冬季五輪大会では最多のメダル数となりました。オリンピックでメダルを獲得するまでの長い道のりと厳しい練習は、私たちには想像もできませんが、競技終了後の選手の涙や表情が、これまでの苦難と厳しいプレッシャーを表し、メダル以上の感銘を受けました。そんな中でも、スピードスケート女子500メートルで日本女子初となった金メダリスト、小平奈緒選手の国境を越えた韓国選手に対する友情、気遣いは感動的なシーンでありました。スポーツだけではなく、日本と韓国が真の友好国となれるよう期待したいものであります。私たちに熱い感動と感銘を与えてくれた選手達のひたむきで真剣な姿に、本当にありがとうございましたと感謝したいと思います。

次に、今年度の主な主要事業の執行状況についてご報告いたします。

はじめに原発事故関連対策として、第二小学校校庭内の埋設土の中間貯蔵施設への搬出作業も完了し、これで仮置場からのすべての除染土壌搬出は終了となりました。なお、新年度には第一小学校校庭にある埋設土の搬出業務を早期に実施する計画であります。

また、原発事故による放射能汚染に伴う自家消費野菜等については、これまで継続して検査を行っておりますが、今年度現在まで国の基準値を超えるものは検出されておられません。今後も引き続き町民の安全・安心な食生活の確保のため測定業務を進めて参ります。

道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業につきましては、今年度実施対象の鏡石1区・2区・3区の堆積物撤去がほぼ終了し、堆積物は仮置き場において管理し

ております。今後、新年度の実施地区及び廃棄物の最終処分場への搬出について、調整を進めて参ります。

公園施設長寿命化事業としての町民プール改修工事につきましては、計画どおり順調に工事が進んでおり、まもなく再オープンとなりますので、また多くの皆さんにご利用いただきたいと思います。

地域づくりの核となる「鏡石まちの駅かんかんてらす設置事業」については、内部改修及び屋根外壁工事も順調に進んでおり、厨房備品や家具、家電の設置、デジタルサイネージの準備を進めております。先月には、「鏡石まちの駅運営委員会」からこれまで議論を重ねてきたまちの駅の運営に関するご提言をいただきました。この提言をもとに、鏡石町観光協会を管理運営団体として運営委託を予定しており、新年度4月以降の早期オープンに向け、町民の皆様はもちろん、町外からも多くの方に利用いただけ、親しまれる施設となるように努めて参ります。

今年度町制施行55周年記念として面積を拡大して実施しました「田んぼアート事業」につきましては、「きらきらアート」までの観覧者数が、32,771人と昨年度に比べ7,923人増の1.32倍となり、盛況に終了することができました。1月の実行委員会において、新年度のデザインは「うさぎとかめ」をメインテーマとすることが決定され、今年度と同様にアニメーターの湖川友謙先生に依頼する予定となっています。オープン予定のまちの駅「かんかんてらす」と連携し、更なる誘客を進めるため、積極的にPRして参ります。

町制施行55周年記念事業であるオリジナルナンバープレートは、8月1日の交付開始から、本年1月末現在で原動機付自転車の合計23件を交付したところです。今後は、岩瀬牧場の量産型トラクターをデザインに盛り込んだ小型特殊自

動車のナンバープレートを追加し、農業に携わる方々の意欲の高揚と、引き続き交通安全の啓発と町民の郷土愛の醸成に努めて参ります。

町立保育所の民営化については、1月27日に開催した保護者説明会で皆様の理解が得られたことから、社会福祉法人鏡石町社会福祉協議会が、新年度の4月1日開所に向けた公私連携型保育所「鏡石保育所」の設置届を県に提出いたしました。なお、今定例会に鏡石町保育所条例を廃止する条例を提出しておりますので、ご審議の上議決賜りますようお願い申し上げます。

次に第5次総合計画に基づく5つの行政分野別目標の事業について申し上げます。

一つめの「町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります」として、町税の収納状況につきまして、本年1月末における一般会計の収納率は、現年度分83.91%と前年同期に比べ1.27ポイントの増となっております。

次に、収納率向上対策として取り組んでおります「コンビニ収納業務」については、昨年12月末現在、件数で7,451件、納税額で110,361千円と全税額の約11.5%を占めております。全国のコンビニ、そして24時間対応という便利さから、その効果が確実に現れているものと分析しており、税の公平・公正の確保のため、今後も更なる収納強化対策を講じて参ります。

固定資産評価替えに係る調査事業につきましては、平成30年度の固定資産評価替えのための土地評価並びに路線価の設定が概ね完了し、現在最終的な調整をしております。評価替えの価格の傾向としましては、住宅地においては若干の上昇傾向が見られますが、農地等におきましては、横ばいや若干の下落傾向となっております。

二つめの「心豊かで人を育て、地域文化を大切にする鏡石をつくります」の分野として、「学校支援地域本部事業（通称：学校応援団）」につきましては、2月末の時点で延べ545名のボランティアにより、支援件数48件、延べ111回にわたり、幼稚園、小・中学校の活動支援を行って参りました。

コーディネーターによるきめ細かなサポートにより、地域の人々が個々の特性を生かした教育活動によって、地域の教育力や地域コミュニティの再生が図られているものと考えているところであり、ボランティアとして参加いただいている皆様に感謝申し上げるとともに、地域ぐるみで子供たちを育てるという意識をさらに高めて参りたいと思います。

生涯学習文化協会と公民館の共催事業として「いきいき学級」や「ジョイフルライフ講座」、「おとなの講座（通称・男性専科）」をはじめ、公民館事業として開催したアドベンチャークラブなどの事業も予定通り全事業を終え2月までに閉講式を行ったところです。種々の学習・講座を通して、町民の皆様が生きがいに満ちた生活を送ることができるよう、生涯学習の環境と体制づくりに努めて参りたいと思います。

「町民保健と健康づくりの支援」につきましては、特定保健指導のウォーキング教室や筋トレ教室を実施し、運動の習慣化を図っております。さらに、糖尿病性腎症予防の取り組みとして、特定健診結果で糖代謝や腎機能の低下がみられる方への個別相談会を1月下旬に開催いたしました。

また、健康と長寿についての理解を深めていただくための健康セミナーを随時開催しており、今月22日には「笑顔で達者に生きるコツ」というテーマで開催することとしております。

三つめの「地域で支え合う、人にやさしい鏡石をつくります」につきましては、

高齢者福祉の充実として、第8期高齢者保健福祉計画及び平成30年度から平成32年度の第7期介護保険事業計画を関係機関・団体の皆様からご意見をいただき策定をいたしました。今定例会に介護保険料の見直しに伴う介護保険条例の一部を改正する条例を提出しておりますので、ご審議の上議決賜りますようお願い申し上げます。また、食からのアプローチとして実施している高齢者食生活改善訪問事業「ハッピーイートプログラム事業」については、管理栄養士や保健師による高齢者訪問や栄養教室、さらには幼稚園・保育所での食育教室にも取り組んでいるところであります。

児童福祉の充実として、子ども・子育て支援事業計画に基づき「つどいの広場」「放課後児童クラブ」「保育所の運営」「認定こども園運営支援」「町立幼稚園の管理運営及び私立幼稚園運営支援」など総合的な子育て支援策の推進に努めて参りました。

また、認定こども園整備事業における「認定こども園ぶどうの木」の園舎増改築事業については、2カ年事業として国県の交付金が決定し、2月3日起工式が行われたところです。

障がい者福祉の充実においては、「第4期障がい福祉計画」に基づき、障がい者自立支援事業等のサービスの利用促進並びに相談事業の充実に努めるとともに、平成30年度から平成35年度の鏡石町障がい者計画及び平成30年度から平成32年度の第5期障がい福祉計画を関係機関・団体の皆様からご意見をいただき策定をいたしました。

医療保険制度の適正な運用として取り組んでいる国民健康保険については、新年度から運営が都道府県単位に広域化されることから、スムーズに移行できるよう準備を進めております。そのため新年度予算におきましては、国民健康保険事務費納付金等、新制度に合わせて編成したところであります。

四つめの「新しい産業を開花させ、活力あふれる鏡石をつくります」として、

水田農業の推進については、平成30年産から生産数量目標の配分がなくなりますが、年々減少していく主食用米の需要に応じた生産に努め、米価の安定を進める必要があることから、福島県から提示された「生産数量（面積）の目安」を基に、経営安定対策に向け、各農家に「生産数量（面積）の目安」の提示と各種の制度についての説明会を2月19日から4日間、町内8箇所で開催したところがあります。引き続き、国の制度を活用した経営安定対策に取り組み農業経営が継続されるよう情報の提供と主食用米に頼らない水田のフル活用に向けた支援に努めて参ります。

多面的機能支払交付金事業につきましては、8団体での地域活動が順調に実施され、今年度から新たに施設の長寿命化の活動にも取り組み、65,340千円の事業費を交付いたしました。新年度の実施に向けましても、事業計画がスムーズに推進されるよう引き続き支援して参ります。

6次化推進・販路拡大プロジェクト事業として実施している農産物PR支援事業では、東京都千代田区、世田谷区や沖縄県北谷町などで、町農産物の販売PR活動を支援し、生産農家の皆さん自らの販路拡大に向けた活動支援を実施したところであります。

農業人生応援プロジェクト事業にあつては、10月交付の1名に加え、新たに2名に農業次世代人材投資資金を交付する予定としており、若い農業者の育成と人材育成に向けた取り組みを進めて参ります。

五つめの「快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります」の、鏡石駅東第1土地区画整理事業については、第1工区における造成工事や道路整備工事は順調に進捗し、一部の工事を残してほぼ完了しております。現在多くの住宅建設が進んでおり、事業効果が感じられる状況となって参りました。なお、県道関連工事において、一部工事の遅れが生じたことから繰越明

許をお願いするところであります。今後は第1工区の完了を踏まえ、新年度におきましては、第3工区に着手すべく予算化を提案して参りたいと考えております。

道路網の整備・安全対策事業につきましては、久来石・行方・蓮池西線改良舗装工事、高速道路跨道橋点検・修繕事業、生活関連道路の補修工事・側溝整備事業などがほぼ完了し、また完了に向け進捗中であります。

次に、水資源の確保と供給事業としての上水道第5次拡張事業については、繰越事業として進めている鏡石浄水場建設工事实施設計業務委託は、昨年12月末の完了に向け進めておりましたが、浄水処理や建築関係、防災調節池等の精査及び検討に時間を要したため、契約期間を3月下旬まで延長し、引き続き関係機関と協議をしながら進めております。また、新浄水場への配水管布設については、南高久田地内の配水管布設工事は完了し、JRを超えて西側への配水に係るJR東北本線推進工事測量設計調査業務委託及び緑町地内配水管布設工事測量設計業務委託については、年度内完了に向けて進めております。

駅東第1土地区画整理事業関連では、区画整理事業の進捗に合わせて上水道の配水管布設工事及び下水道の管渠築造工事が進められ、国道4号拡幅関連事業では、拡幅事業の進捗に合わせ、支障となる上水道施設の移設等について年度内完了に向け工事を進めております。

次に、新年度予算の概要について申し上げます。

平成30年度の、予算編成にあたりましては、本町を取り巻く極めて厳しい財政現状を認識し、国・県の動向や住民ニーズ等の情報収集と各種事業の必要性や今後行政が担うべき役割を検証した上で、限られた財源で最大の事業効果を発揮するよう一層の創意工夫を凝らした持続可能な財政構造の確立に向け、各種補助制度や交付税措置など有利な起債等を有効に活用しながら、町政運営の基本方針

を示す第5次総合計画における施策評価を行うとともに、まちの将来像である「かわる かがやく “牧場の朝” のまち かがみいし」の実現に向け、5つの柱を基軸に各種事業への重点的かつ効果的な配分に努めたところであります。

なお、一般会計、特別会計、企業会計を合算した総額につきましては、101億509万円で前年度比2.1%減となりました。

平成30年度の各会計の予算額を申し上げますと、

一般会計	6, 193, 000千円
国民健康保険特別会計	1, 306, 230千円
後期高齢者医療特別会計	105, 666千円
介護保険特別会計	978, 000千円
土地取得事業特別会計	30, 052千円
工業団地事業特別会計	47, 137千円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	139, 600千円
育英資金貸付費特別会計	5, 113千円
公共下水道事業特別会計	508, 800千円
農業集落排水事業特別会計	71, 100千円
上水道事業会計	720, 401千円

次に、一般会計の歳入歳出予算の概要について申し上げます。

歳入として全体の約25%を占める町税については、震災以降景気の回復に伴い増加をしていますが、地方の景気回復については足踏み状態であり、依然として厳しい経済状況であります。個人町民税は、5.5%増の4億7,517万円、法人町民税は、12%増の1億1,999万円、固定資産税にあっては、4.5%減の8億3,030万円と町税全般で、前年度並みの15億4,495万円を計上したところであります。

地方交付税は、臨時財政対策債を含め、前年度比6.2%増の20億7,049万円を計上しておりますが、ごみ処理場建設事業に係る震災特別交付税の増加が主な要因であり、普通交付税については8.9%減の10億1,900万円となっています。基金からの繰入金については、財政調整基金から2億8,075万円のほか、文教施設維持整備基金、東日本大震災復興交付金基金、ふるさと鏡石ありがとう基金などから、全体で3億7,831万円を計上しております。

町債については、臨時財政対策債を除き、2億3,970万円を計上したところであり、将来の財政負担を考慮し、適正な起債枠を確保しながら、基金取り崩しなどの措置を講じることにより財源を確保したところであります。

一方歳出面においては、引き続き徹底した事務事業の見直しと経常経費の圧縮を図りながら、町政運営の基本方針を示す第5次総合計画のもと、各種事業の重点的かつ効果的な配分に努めた予算編成としたところであります。

主要事業につきましては、「被災者支援事業」「原子力災害対策関連事業」「防災関係事業」「進化する鏡石実行プロジェクト」とした4分野と、第5次総合計画における行政分野別施策として5分野の事業に取り組むこととしております。

「被災者支援事業」としては

- ・災害援護資金貸付事業 5,000千円

「原子力災害対策関連事業」としては

- ・道路等側溝堆積物撤去、処理支援事業 542,627千円
- ・原子力災害対策補完事業 91,706千円
- ・ふくしま森林再生事業 21,634千円
- ・食品等モニタリング事業 6,491千円

「防災関係事業」としては

- ・第9分団小型動力ポンプ積載車購入事業 8,020千円
- ・Jアラート新型受信機更新事業 4,000千円

「進化する鏡石実行プロジェクト」としては

・駅に降りてみたくなる事業	37,115千円
・通りを歩いてみたくなる事業	2,091千円
・住んでみたくなる事業	1,000千円

などに取り込むこととしております。

次に、第5次総合計画における行政分野別施策としては、

＊町民参加と行財政運営分野では

・公共施設等維持管理事業	18,825千円
・ふるさと鏡石ありがとう事業	6,483千円
・町税等収納率向上対策事業	2,883千円

＊教育・スポーツ・健康づくり・文化振興分野では

・中学生の各種検定、教育活動補助事業	1,129千円
・語学指導等外国青年招致事業及び児童国際化推進事業	8,826千円
・幼稚園施設整備事業	19,525千円
・体育協会、かがみいしスポーツクラブ支援	8,400千円
・健康増進事業予防接種事業	69,938千円
・母子保健事業	15,891千円

＊福祉・安全安心・コミュニティ形成分野では

・在宅高齢者福祉事業	11,185千円
・生き生き幸せ食生活応援団事業	4,818千円
・保育施設運営補助事業	317,088千円
・認定こども園整備事業	145,825千円

- ・障がい者福祉関連事業 289,940千円
- ・地域コミュニティ形成事業 54,465千円

＊産業振興分野では

- ・農業振興地域整備計画総合見直し事業 5,400千円
- ・6次化推進、販路拡大プロジェクト事業 3,900千円
- ・農業人生応援プロジェクト事業 5,600千円
- ・基盤整備調査事業（高久田地区） 2,791千円
- ・県営ため池等整備事業（梨池下地区） 42,270千円

＊都市整備・都市開発分野では

- ・鏡石駅東第1土地区画整理事業 110,934千円
- ・社会資本整備総合交付金事業 96,213千円
- ・公道及び生活関連道路整備事業 67,150千円
- ・第5次上水道拡張事業 370,935千円

などに取り組む予定であります。

次に、今定例会に提出いたしました議案の概要について申し上げます。

報告第35号 専決処分した事件の承認につきましては、損害賠償等請求事件の代理人委任に係る補正予算を報告するものです。議案第177号 鏡石町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定については、介護保険法の改正により都道府県条例で定めることとされていたものが市町村の条例で定めることとされたための条例制定であり、議案第178号 鏡石まちの駅の設置及び管理に関する条例の制定については、新年度オープン予定の鏡石まちの駅の設置及び運営に関して必要な事項を定めるものであります。

議案第179号 鏡石町情報公開条例の一部を改正する条例の制定及び議案第180号 鏡石町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定については、

個人情報保護法の改正に伴い、個人情報の定義の明確化など所要の改正を行うもの、議案第181号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、育児・介護休業法の改正に伴い関係規定を改正するものです。議案第182号 鏡石町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定については、減収補てん制度を規定している各省令の改正により適用期限の延長について関係規定の改正を行うものであり、議案第183号 鏡石町国民健康保険条例の一部を改正する条例については、新年度から国民健康保険が県単位に広域化されることに伴う改正であります。

議案第184号 鏡石町介護保険条例の一部を改正する条例の制定については、第7期介護保険事業計画に伴う保険料率の改正をするものであり、議案第185号 鏡石町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてから 議案第187号 鏡石町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定につきましては、介護サービスの基準について国の省令に基づき条例の改正を行うものであります。

議案第188号 鏡石町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例については、高齢者の医療の確保に関する法律の改正に伴う住所地特例の取り扱いの見直しに関する所要の改正であります。

議案第189号 鏡石町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定については、道路法施行令の改正に伴い道路占用料の額を改正するものであります。

議案第190号 鏡石町都市公園条例の一部を改正する条例の制定については、都市公園法の改正に伴い、これまで国が定めていた運動施設の敷地割合に対する限度を市町村の条例で定めることとされたことによる一部改正。

議案第191号 鏡石町心身障害児就学指導審議会条例の一部を改正する条

例の制定につきましては、学校教育法施行令の改正に伴い、組織名、所掌事務等の改正を行うものです。議案第192号 鏡石町保育所条例を廃止する条例の制定については、新年度から町社会福祉協議会への保育所移管に伴い条例を廃止するものであり、議案第193号 町道路線の認定については、成田地区ほ場整備事業地内の区画道路について町道認定を行うものであります。

議案第194号 平成29年度鏡石町一般会計補正予算（第7号）につきましては、年度末の事業費確定に伴う整理予算であります。主な歳入は、法人町民税22,000千円の増額、歳入減額としましては震災復興特別交付税244,319千円、道路等側溝堆積物撤去業務に伴う福島再生加速化交付金140,453千円、ふくしま森林再生事業補助金31,791千円を減額するものです。主な歳出は、児童手当事業実績に伴う12,960千円、須賀川地方保健環境組合ごみ処理施設更新事業分賦金114,268千円、道路等側溝堆積物撤去業務委託料257,542千円、町民プール機械設備改修工事实績に伴う30,500千円、ふくしま森林再生事業の43,280千円などいずれも減額補正であり、総額451,568千円の減額補正予算であります。

今年度繰越明許費につきましては、ふくしま森林再生事業として25,720千円、国道4号拡幅事業に係る地方特定道路整備事業として15,765千円など3事業で総額45,903千円を設定するものであります。

議案第195号 鏡石町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）及び議案第196号 鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）については、年度末の事業確定に伴う補正予算であり、議案第197号 鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）については、繰越明許費を設定するものであり、議案第198号 鏡石町育英資金貸付費特別会計補正予算（第1号）については、貸付金の確定等に伴う補正予算、議案第199号 鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）については、年度末の事業確定に伴う補正予

算及び繰越明許費を設定するものです。議案第200号 鏡石町上水道事業会計補正予算（第4号）につきましては、年度末の事業費確定に伴う補正予算であります。

以上、今定例会にあたりまして、町政運営と、提出いたしました議案の概要についてご説明申し上げました。何卒よろしくご審議いただき議決賜りますようお願い申し上げます。